

7月の安心かわら版

7月の主な行事

1日～7日	： 全国安全週間	18日	： 海の日
7日	： 七夕	23日	： 大暑
7日	： 小暑	23日	： 土用の丑の日



【洗濯のプロ直伝！】梅雨時期の洗濯物を臭わず早く乾かす方法

梅雨時期の洗濯の悩みといえば「あの部屋干しの臭い！」洗剤や柔軟剤を使ってある程度は抑える事はできますが、実は「乾かす時間」も洗い方と同じくらい大事だって事、知ってましたか？

あの臭いの正体は雑菌

あの部屋干しの嫌な臭いの正体は、「モラクセラ菌」という雑菌が主な原因です。このモラクセラ菌が、洋服に残った皮脂などの汚れを食べながら繁殖、増殖していく事で臭いが発生します。モラクセラ菌は水分がある場所で繁殖します。その「水分」をコントロールすること、つまり「早く乾かしてあげること」で、雑菌の増殖を抑えることができます。ちなみに、雑菌が増殖し臭いを発するタイミングは平均的に「5時間後」です。つまりは、5時間以内に乾かす事ができれば、雑菌が増殖しにくくなるため、部屋干し臭がしなくなる、というわけです。

ポイントその①・干す場所を選ぶ

昨年の梅雨に、・リビング ・トイレ ・お風呂場 のどこが一番乾くのか？という実験を行ってみた所、一番乾きやすい場所は「トイレ」だったのです。でも、さすがにトイレは別の意味で臭くなりそうって事で、論外ですよ。次によく乾いたのは、「リビング」でした。

よく部屋干しで良いのは「お風呂！」って声を聞いたりしますが、お風呂って毎日夜には使いますよね？梅雨の時期は下手をすると昼間まで湿っぽく湿度が高い状態を維持してしまいます。24時間換気をしていても、です。そのため、湿度が高い状態を維持しているお風呂よりも、「リビング」が良く乾くといった結果になりました。

ポイントその②・干し方

先ほどのリビング干しの場合、外で小雨が降った状態で、「約6時間半」ほど、乾燥に時間がかかりました。もっと効率よく乾燥をさせるために、次の3つの事を実践してもらうと5時間を切るほどの速さに乾燥時間を短縮できます。

1) 干す時の並べ方や吊り下げ方を工夫する

- ・ある程度間隔を開けて干す
- ・ズボンであればひっくり返して干す
- ・長袖であれば逆さまにして干す
- ・生地と生地がくっつかないように工夫して干す

2) 風を起こす扇風機やサーキュレーターを使用する

サーキュレーターや扇風機で風を当てるのですが、風の当て方も工夫次第で乾きやすくなります。「洗濯物の下の部分に当たる程度に風を向けてあげる」のが一番効率よく、乾きやすい風の当て方になります。

3) 24時間換気が無い場合は、キッチンの換気扇を弱で動作させる

雨が降っている外よりも部屋の中の空気が湿度が高くなりがちなので、24時間換気がある場合は、それを利用するかキッチンの換気扇を弱で動かしてあげる事で部屋の中の空気を少なからず入れ替え続ける事ができます。

秩父支店スタッフ ～よろしくお願ひします～



レジアスインプクト(株)秩父支店

chichibu@rezeous.co.jp

〒368-0024 埼玉県秩父市上宮地町26-21

TEL 0494-27-3210 FAX 0494-26-6555

事務所の電話番号も登録お願ひします！